

# 日本医史学雑誌 第四十六卷 第四号 目次

原 著

農村医学の形成と発展——佐久病院における地域医療活動の実践から……………	杉山 章子……………	五〇七
森鷗外「甘暝の説」——「生命の質」への一視座……………	高橋 正夫……………	五三三
『扁鵲倉公列伝割解』の研究——現伝本における書き入れおよび旧蔵者……………	宮川 浩也……………	五五五
吉益東洞『古書医言』と『医事古言』——両書の比較、延いては『古書医言』の文献学的特質について……………	館野 正美……………	五七七
……………	丁 蕾……………	六二三

資 料

近代日本の対中医療・文化活動——同仁会研究(四)……………	池田文書研究会……………	六四〇
池田文書の研究(二十三)……………	高橋 均、児玉重隆……………	六四八
華岡家文書(華岡家宛書翰類)……………		

記 事

消 息

横浜市大にシモンズ碑建つ……………	大滝 紀雄……………	六五九
中野操文庫について……………	長門谷洋治……………	六六〇
『中川五郎治顕彰碑』について……………	松本 明知……………	六六一
沖繩医生教習所碑再建について……………	新垣 敏雄……………	六六三
例会抄録……………		
検梅医・松山不苦庵の足跡……………	中西 淳朗……………	六六九
古写本「長崎吉雄先生秘伝」について……………	中西 淳朗……………	六七二
永井潜——断種法上の人びと(その三)……………	岡田 靖雄……………	六七三

医学館の学問の形成について……………町 泉寿郎……………六七五

二宮陸雄『桑田立斎先生』……………深瀬 泰且……………六七七

石田純郎『アジア医科学史散歩』……………蒲原 宏……………六七九

中山茂春『筑後久留米藩医中山家系図』……………小林 晶……………六八一

二宮陸雄『医学史探訪 医学を変えた一〇〇人』……………石田 純郎……………六八三

鹿子木敏範『落葉集』……………ヴォルフガング・ミヒエル……………六八四

小田泰子『種痘法に見る医の倫理』……………中西 淳朗……………六八六

平尾真智子『資料に見る日本看護教育史』……………杉田 暉道……………六八七

文庫めぐり

北里大学医学図書館『飯山文庫』……………立川 昭二……………五三

鶴見大学図書館……………戸出 一郎……………五四

内藤記念くすり博物館附属図書室……………青木 允夫……………五三

《本号の表紙絵》

コス島のアスクレピオン聖域

ギリシャ・コス島のコス市の街から4kmはなれたアスクレピオンの聖域は、古代医学の中心として知られるアスクレピオス学派の聖域である。こゝはヒポクラテスの死後(紀元前357年)に建てられた。医学に携わっていた聖域者の集団・アスクリペイアデスによって、ヒポクラテスから受け継いだ治療法(水、香、スピリットを中心とする)を行った。

図はアポロンの林苑の最上域(First Terraco)で、19世紀の石版画であろう。現在はいささかに整地されており、この神域の下方のアスクレピオス祭壇で、タテ笛の音をバックに生まれたての医師は“ヒポクラテスの誓い”を読みあげるのである。この儀式は8~9月にかけて再現されている。

(中西 淳朗)